



義務教育学校阿仁学園
令和6年度学校報



きらり

令和6年12月6日(金)
NO. 16 文責 校長

★ ★ よりよい学校をみんなの力で～児童生徒会役員選挙～

11月25日に児童生徒会役員選挙が行われました。来羽さんは多方面との繋がりを、佑月さんは反応力を、晴眞さんは9学年の縦の絆を訴え、当選しました。これから新役員を中心にどんな「みとせ」が展開されていくのか期待しながら支援していきたいと思います。

令和7年度新役員

会長 田中 来羽さん
副会長 荒川 佑月さん
武田 晴眞さん



凜とした雰囲気での立会演説会



5年生以上が投票



本物の投票箱に



任命式で決意を語る

★ ★ 12月9日(月)の2学期末PTAは盛りだくさん！

12月9日(月)に2学期末PTAが行われます。今回は授業参観や学年PTAに加えて、特別プログラムを多数ご用意しております。ぜひ、たくさんの方々においでいただき、学校の雰囲気を味わっていただければと思います。

<当日の日程>

12:20～13:05 授業参観(後期は13:10まで)

13:20～13:35 秋田活性化中学生選手権プレゼン発表

13:45～14:45 PTA研修会(集会「ようこそ先輩」)
「感じたままに動き出せ！～想像は無限大」MASAさん
児童生徒も一緒に聴講します

14:55～15:15 PTA全体会

15:25～16:05 学年PTA

16:15～17:10 PTA親睦バレーボール大会

17:30～ PTA文化部会(PTA会報について)



★この日は11:30から給食です。早めに来校していただき、給食の様子を参観していただくこともできます。

おすすめ!

1 受賞プレゼンを披露!

秋田活性化中学生選手権全県大会で最優秀賞を獲得したプレゼンをぜひご覧ください。

2 楽しいパントマイムを!

世界で活躍する阿仁出身のパフォーマーMASAさんによるライブ感覚の講演会です。

授業参観も、プレゼン発表もPTA研修会も全て児童生徒保護者以外も参観可能です。祖父母、親戚、ご近所の方などにもお声がけいただければ幸いです。!(^^)!

NEWS 先生方は歌声で「動(do!!)」～やっちゃんえ! のど自慢～

テレビに～出たい～よ～♪

明日、8日(日)に大館市で開催されるNHKのど自慢の予選会が行われます。今回、本校から4名の先生(校長、鈴木雅翔、伊藤星、宮崎恭輔)がチームで参戦します。歌はもちろん「秋田の行事」。1次審査を通過した200組による本戦出場(20組)をかけた倍率10倍の争い。楽しみながら、頑張ってください。(*^_^*)

応援してね～♪



Topics

ノート100冊



秋田活性化中学生選手権でノートを100冊いただきました。全校児童生徒に1冊ずつ配付しました。

ふれあい給食



先週は、担任や学年部以外の先生が教室に出向き、子どもたちと給食を楽しみました。

通学路の落ち葉



Before



After

地域の柳谷さんが通学路に広がった落ち葉をきれいに掃除してくださいました。いつもありがとうございます。

大館・北秋田作文・詩コンクール「はらっぱ」

< 詩の部 >

- 特選 5年 辻 来翔「ロウニンアジに挑む」
 6年 片岡 璃來「ぼくの初挑戦は続く」
 9年 市川 智英「花火のようなもの」
 入選 1年 上杉 七瀬「大すきなおながくしつ」
 2年 戸嶋 結姫「こうもりみたいなハンバーグ」
 3年 佐藤 智紘「落ち葉」
 5年 鈴木 蓮央「父の仕事」
 8年 梅井冨太郎「僕の難題な我儘」
 8年 加藤あんな「音楽を作り上げるには」
 佳作 2年 片岡 茉愛「あに学んで、にぎやかだなあ」
 2年 戸嶋 莉里「おいしいなべっこ」
 3年 鈴木芽結子「アイスクリームのおうち」
 4年 高橋 誉「ぼくらがたたくくまげら太こ」
 5年 柏木 柚希「ぼくの猫について」
 6年 佐藤 圭悟「はるなつあきふゆ」
 6年 高島木音里「イチョウ」
 9年 藤本 蓮「今のきもち」

< 作文の部 >

- 入選 4年 佐京 寛哉「ぼくの野球の新たな決意」
 佳作 4年 小松 晏士「阿仁学園の楽しい行事」
 4年 高堰 良平「これからの自分」
 4年 高堰 凜「わたしのすきな音楽」
 5年 森本楓奈子「東京と秋田」

< 250字作文の部 >

- 特選 8年 高堰 佳祐「ピカピCar」
 9年 佐京 寛淳「目標に向かって」
 佳作 8年 栗谷 大智「陸上は裏切らない」



北秋田市読書感想文コンクール

- 入選 3年 佐京 結衣「たくさんの人にかんしゃして」
 5年 佐京 寛剛「大好きな野球」
 8年 梅井冨太郎「自分だけの得」
 佳作 3年 船橋 風暁「きずついたつばさをなおすには」



「はやぶさ」と聞くと、何を連想するだろうか。

- ・獲物に向かって猛スピードで急降下する世界最速の鳥
- ・JAXAが開発した小惑星探査機
- ・東北や北海道を時速300kmで走る新幹線
- ・プロレス団体FMWで活躍した覆面レスラー



11月から前期課程の体力づくりがマラソンからなわとびに変わった。子どもたちはいろんな技に挑戦しているのだが、その最難関が「あや二重とび」。別名「はやぶさ」と呼ばれ、あやとびと二重とびを同時に行う高度な技だ。実は私、この技に絶賛挑戦中である。理由は単純。これができるとヒーローになれるから。が、できない。難しい…。そんな私を尻目にスイスイと跳び続けるはやぶさ名人がいる。鈴木蓮央くん。その妙技をこちらからどうぞ。 →→→→→ (Nawatobi Go! Go!) →→→→→

もし、この技ができるようになったら、きっと自分に自信を持てるはず。そんな未来を思い描きながら、来週も体育館に足を運びようと思っている。

